

岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

捨印

平成27年3月7日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ

団体名 旭竜学区安全・安心ネットワーク

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	旭竜学区防災マップ作成事業
事業実施区域(小学校区)	旭竜学区
事業実施回数	☐ 新規 ☒ 継続 回目 (年度から)
事業の目的	災害時に備えて、日常から安全に避難できる情報を共有するため、地震・洪水時の避難マップを作成する。
事業の必要性	当学区においては、平成24年度から学区で防災避難訓練を行っている。 特に平成25年度からは、子どもを巻き込んだ訓練が必要と考えて、旭竜小学校の土曜日授業と連携した訓練を行っている。 訓練する中で、避難ルートとして、危険個所は避けるようにしているが、危険個所を具体的に明示したマップがなく、個人の判断によるところが多い。 災害時に必要となる主要な施設等も明示できていない。 災害時において必要となる危険個所や必要な施設等を明示した防災マップを作成する。

事業の内容	① 避難に関する情報の収集 危険個所の調査、施設の調査等 ② マップ編集作業・・・7町内会から各2～3名のメンバーに出てもらい、作業部会を結成して行う。作業部会では、各町内会の代表メンバーが、各町内会の意見をもちより、その意見を反映した作業を行う。 ③ マップの原稿作成、校正・・・各町内会の意見を反映したものとなっているか等を再度チェックする。 ④ マップの印刷、各戸への配布
期待される成果	① 災害避難情報の共有により、災害時に安全な避難が可能となる。 ② 平成28年度以降、マップを利用した防災訓練を実施することにより、安全な避難が可能となる。 ③ 防災訓練と相まって、防災意識の高揚を図ることができる。
企画などの工夫	① 子どもや高齢者に理解できるように、分かりやすい防災マップを作成する。 ② 高齢者を含むあらゆる人に情報や意見を求める。 ③ イラストや写真を取り入れ、親しみやすいマップを作成する。
事業の情報公開	① 回覧によりマップの作成を知らせる。 ② マップを学区内の全世帯（約2,200戸）に配布する。 ③ マスコミに発表する。 ④ 中島町内会の電子町内会で公開する。 ⑤ 中区内の主要な施設に配布する。
次年度以降の予定	① 平成27年度単年度事業とする。
その他PRしたい点	① マップを作成し、それで終わりということではなく、毎年の防災訓練又は日常生活の中で新たに気づいた点等を取り上げ、3年程度をめどに、地図の更新をしていきたい。

[illegible]